

電子部品流通

THE DENSHI BUHIN RYUTSU

第258号 令和8年
(2026年)
発行 2月27日 年4回発行

発行
全国電子部品流通連合会
東京都文京区湯島3-6-1
<https://www.jep.gr.jp/>
電話 東京 03(3832)4295
企画編集 家電流通研究センター



神田神社(神田明神)、初詣で長蛇の列

今年も神田明神の初詣が大いに賑わった。一説によると、正月三日の参拝者数は30万人を超えると言われている。特に本年は例年以上に賑わったとの話も出ている。なお日本経済新聞によると、社殿に上がって参拝する昇殿参拝は、1月中だけで約1万社から申し込みがあったという(写真は1月5日の神田明神への参拝者たち)。

■全国電子部品流通連合会/各地区団体の方針

- 全国電子部品流通連合会(JEP)
- 東京都電機卸商業協同組合(TEP)
- 近畿電子部品卸商組合(KEP)
- 中部電子部品流通業協議会(CEP)
- 中・四国電子制御部品流通協議会(CSEP)
- 関東甲信越電子制御部品流通協議会(NEP)
- 九州電子流通業協議会(KRP)

CONTENTS

- ◎JEP/各地区団体2026年方針 2
- ◎電子機器トータルソリューション展2026/ECU Show ... 8
- ◎CEATEC2026/開催概要 9
- ◎新年名刺紙上交換会 10
- ◎JEITA/「電子情報産業の世界生産見通し」から ... 12

JEP 全国電子部品流通連合会

JAPAN FEDERATION OF ELECTRONIC PARTS DISTRIBUTORS & DEALERS



全国電子部品流通連合会／各地区団体の方針

対話をキーワードに関係を深化

成功・失敗事例も包み隠さず共有

2026年の電子部品業界は、ITインフラ投資の拡大により、AI関連での電子部品需要は引き続き旺盛になることに加え、自動車のxEV化・ADAS（先進運転支援システム）の進展、産業機械の需要回復が期待されている。

これに伴い、電子部品の生産額は、日系企業と国内生産とも右肩上がりが見込まれている。半導体についても、データセンターへの設備投資が継続することに加え、自動車の生産回復へ

の期待による需要増加の右肩上がりが見込まれる。

このような市場が予想されている中、各地区団体では新たなツールの導入や定例会等による会員間の連携、研修等による知識武装、スタートアップ企業とのマッチングによるビジネスチャンスの創出を目指した動きを見せている。

ここでは、全国電子部品流通連合会（JEP）と、各地区団体の活動方針や賀詞交歓会等で語られた思いを紹介する。

全国電子部品流通連合会（JEP） 東京都電機卸商業協同組合（TEP）

会長 屋宮芳高
理事長

共に語り、共に進む一年に

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

力をいただき、厚く御礼申し上げます。

幕開けがありました。これらの日本が担うべき多様性や

た。こうした偉業は、若い世代の研究者や技術者に夢と希望を与えています。スポーツ

屋宮会長

全国電子部品流通連合会（JEP）並びに東京都電機卸商業協同組合（TEP）の活動

様々な大きな節目がありました。政治の世界では憲政史上初となる女性首相の高市早苗

氏が誕生という新しい時代の賞し、大きな誇りとなりました。

選手が活躍する姿が多くの人々に勇気を届けました。

今年も2月、3月には冬季オリンピック・パラリンピック、3月にはワールドベースボールクラシック、6月にはサッカーワールドカップ、9月にはアジア大会があり、日本人の活躍が期待されます。

このような社会の動きは、これから私たちが進むべき方向にも多くのヒントを与えてくれます。変化の激しい時代だからこそ、私たちは「状況を正確に捉え」「柔軟に対応し」「次代を見据える」視点を持ち続けなければなりません。

私たちを取り巻く環境も決して平坦なものではありませんでした。原材料価格の高騰、人手不足、急速なデジタル化の進展など、変化の波は例年以上に大きく感じられた一年

だったと思います。その一方で、そうした変化に真摯に向き合い、それぞれの現場で工夫を重ね、前に進んでくれた会員の皆様の姿に、改めてこの業界の底力を感じる一年でもありました。

電子部品流通業は、決して派手な業種ではありません。しかし、日本のものづくりを陰で支え、産業の血流として機能してきた重要な存在です。私たちが日々積み重ねている一つひとつの仕事が、確実に社会の役に立っている。その誇りを、今年はもう一度しっかりと胸に刻んでいきたいと思えます。

電子部品業界は急速に進化するAIサーバー、データセンター向けの技術開発が活発化しています。データセンタ

ー向けのGPUは桁違いの電力を消費するために、省エネ対応の電子部品や液浸冷却対応部品の開発が注目されています。一方で、データセンター用メモリーのHBMの増産により、既存のPCや携帯

電話に使われるメモリーが品薄状態になり、スポット価格の上昇を招いています。今年の組合のキーワードとして、私は「対話」と「挑戦」を大切にしたいと考えています。業界の中での対話、世代を越えた対話、そして地域を越えた対話。全国の会長として、また東京の理事長として、

会員皆様の声に耳を傾け、顔の見える関係をさらに深めていきたいと思っております。立場や規模の違いを越えて、素直に語り合える場が、

必ず次の一步を生み出すと信じています。同時に「挑戦」を続ける一年にしたいと思います。新しい取り組み、新しい発想、新しいつながりへの挑戦。すべてを一気に変える必要はありません。昨日より半歩前へ進むこと。その積み重ねが、数年後に大きな違いとなつて表れるはずです。

TEPは全国に先駆けて動く役割を担っています。その責任を自覚しつつ、成功事例も失敗事例も包み隠さず共有し、全国にとつて参考となる活動を進めて参ります。そして全国の知恵と経験を、再び東京に持ち帰り、相互に高め合う循環をつくっていききたいと考えています。

本年が、会員の皆様にとつ

て「実りを感じられる一年」となり、業界全体が少し明るく、少し元気になる年になることを心より願っております。共に語り、共に前に進んで参りましょう。

2026年は「丙午（ひのえうま）」に当たる年とされています。丙は物事を明るく照らす火を表し、午は力強く前に進むエネルギーを象徴すると言われています。まさに、これまで培ってきた力を外に向けて発揮し、一步踏み出すのにふさわしい一年ではないでしょうか。

結びに皆様とご家族のご健勝とご多幸、そして各社の益々のご発展を祈念し、本年も変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。本年のご挨拶といたします。

近畿電子部品卸商組合（KEP）

理事長 江見佳之

東西連携と共創の未来へ

近畿電子部品卸商組合（KEP）の活動において、皆様

には格別なご支援とご協力をいただき、心より御礼を申し

上げます。

昨年を顧みますと、電子部品流通業界は、まさに「変化の荒波」の中にありました。

地政学リスクの常態化やインフレの進行といった不安定な外部環境に加え、市場の在庫調整局面が続くなど、経営の

舵取りには極めて高い预见性と柔軟性が求められた一年でありました。

社はこうした逆風を機敏に捉え、サプライチェーンの要として事業継続性の確保と安定供給に奔走されたことと思



坂会長



江見理事長

2026年回復基調に期待して

中部電子部品流通業協議会(CEEP)

会長 坂 明憲

中部電子部品流通業協議会(CEEP)は、2026年1

月28日、賀詞交歓会を名古屋テレビ塔の会場にて開催させていただきました。

賀詞交歓会の前には、会員企業各社に提供しております生成AIアプリケーション「Base knowledge」を用いた「社内機密データ活用」をテーマに、講

師を招いて勉強会も開催いたしました。半歩先の内容をテーマに据え、難しさもありましたが、会員・賛助会員および来賓含め47名の参加いただいた方には、抱える課題を理解していただけたと思います。

以下を冒頭の挨拶とさせていただきます。 「中部地域を支える自動車部品と工作機械産業は、日本のものづくりを支える柱として、長年高い存在感を示してきました。

2025年の日本の工作機械市場は約1兆7千億円規模であり、2026年以降の市場は3・75%程度の成長を見込んでおります。現場とのギャップは多少感じますが、底堅さを示すデータとなっております。今後、中華圏への輸出の伸びを期待しておりますが、地政学リスクについても大いに感じてお

ます。知恵を絞り、一歩先を読んだ対応を積み重ねること、社会的責任を果たしてこられた皆様の真摯な取り組みに、深い敬意を表する次第です。

2026年の展望に目を向けますと、生成AIの社会実装が爆発的なスピードで進むなど、デジタルトランスフォー

メーション(DX)は、もはや不可逆な潮流となりまして、社会的責任を果たしてこられた。これにより、高性能・高付

加価値な電子部品への需要構造は、質・量ともに劇的な変化を遂げています。私たちはこの変化を単なるリスクと捉えるのではなく、AI、IoT、クリーンエネルギーといった新領域における「新たな成長の機会」と認識し、果敢に挑戦していかねばなりません。

本年、KEPでは昨年引き続き「地域社会の活性化」と「デジタル化への対応力強

化」を、二つの柱として活動を推進して参ります。特に本年度は、従来の枠組みを越えた「交流」と「共創」を加速させるべく、教育研修・広報・業界発展促進・会員交流の4委員会による従来からの活動に加え、具体的な二つの重点施策に取り組んで参る所存です。

第一に、東京都電機卸商業協同組合(TEP)との合同例会を予定しております。全国電子部品流通連合会(JEP)の一員として「東西の連携」をこれまで以上に深化させ、各地区団体との交流を加

速させたいと考えております。地域を越えた知見の共有と未来志向の議論を重ねること、日本産業界が求める「強靱な安定供給」と「新たな付加価値の創造」を、近畿と東京の両輪から力強く牽引していく決意です。

第二に、大阪商工会議所を始め、官公庁のご協力の下、スタートアップ企業との連携を強化して参ります。革新的な技術やアイデアを持つスタートアップ企業を積極的に取り込み、組合員企業とのマッチングを加速させることで、既存のビジネスモデルに新し

い風を吹き込みます。このマッチングを通じて組合活動をより活性化させ、変化の激しい市場において持続的な成長を実現するための「エコシステム」を構築して参ります。

業界の未来は、私たち一人ひとりの志と、組織や地域を越えた連携にかかっています。本年も、KEPの活動を通して会員の皆様のお役に立つ組合となることを目指し、精一杯努めて参りますので、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしく申し上げます。



中野会長

中・四国電子制御部品流通協議会(CSEEP) 会長 中野和久 AI活況でビジネスチャンス拡大に期待

ります。自動車部品分野については、国内市場全体が2025年比で緩やかな成長(年率2~3%台)を見込むとの分析もあり、EV・CASE関連部品や高機能部品需要の拡大が市場成長を下支えしています。

今後は、各社のEV戦略を慎重に見守っていく必要があると感じております。2026年度は国内の製造業も改善基調にあると、製造PMIの1月速報も51.5へ上昇し、新規受注や輸出が拡大に転じる動きを示しており、大に転じる動きを示しております。

今年度は生産・受注の改善が具体化する年として期待しております。地域の復調を力強く支えるCEP会員企業の支援になるようにと思いい、今年も『生成AI』での情報共有や生産性向上への取り組みを続けることを検討させていただきます。

来賓祝辞は、経済産業省中部経済産業局地域経済部室長の山岡毅様、全国電子部品流通連合会(JEP)会長の屋宮芳高様からいただきました。あらためて会員同士の懇親を深めることができました。

今後は4月22日の通常総会、並びに生成AI委員会の終了報告会の開催を予定しております。今年度も引き続き、会員企業の皆様にご協力いただき、メリットを感じていただけるよう、CEP活動方針にのっとり積極的に企画・運営をして参ります。

中・四国電子制御部品流通協議会(CSEEP)は1月21日、広島市東区の二葉で「令和8年賀詞交歓会」を開催した。会場には組合員など約15人が出席し、新年の門出を祝った。

冒頭、中野和久会長は次のように挨拶した。「皆様、新年あけましておめでとうございます。年明けのお忙しい中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。今年世の中はAI、AIで、本年はAIがさらに拡大する年だと思えます。AIサーバー/データセンターは特にメモリーが大量に必要ですから、メモリーがまったく足りず、供給問題と価格が高騰しているのはご存じかと思えます。それに伴い、パソコンなどメモリーを使う製品が値上げに動き始めています。

先週の新聞には、中国経済産業局が2040年度までに半導体、グリーントランスフォームーション(GX)、EV自動車と造船、観光の分野に官民の投資を加速させて20兆円規模を目指す、という記事がありました。

皆様ご存じとは思いますが、GXとは経済成長と環境保護を両立させるために、化石燃料中心の社会から太陽光や風力等の再生可能エネルギー中心の社会へと移行する取り組みです。半導体では、マイクロンが26~29年度に広島工場へ1兆5千億円を投資して、AI向けの次世代メモリーの量産を

計画しています。半導体製造装置のデイスコは、呉市の新工場の第1期工事に330億円を投じるそうです。AI活況は27年春以降も続くと考えられています。成長分野のAIに比べ、電子制御部品業界を取り巻く環境は、これまでにない厳しさを迎えています。AIを除く需要の減速に加え、資源・エネルギー価格の高止まり、原価の高騰などが、中小企業の経営に大きな影響を及ぼしていると思えます。

「皆様、新年あけましておめでとうございます。年明けのお忙しい中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。今年世の中はAI、AIで、本年はAIがさらに拡大する年だと思えます。AIサーバー/データセンターは特にメモリーが大量に必要ですから、メモリーがまったく足りず、供給問題と価格が高騰しているのはご存じかと思えます。それに伴い、パソコンなどメモリーを使う製品が値上げに動き始めています。

先週の新聞には、中国経済産業局が2040年度までに半導体、グリーントランスフォームーション(GX)、EV自動車と造船、観光の分野に官民の投資を加速させて20兆円規模を目指す、という記事がありました。

皆様ご存じとは思いますが、GXとは経済成長と環境保護を両立させるために、化石燃料中心の社会から太陽光や風力等の再生可能エネルギー中心の社会へと移行する取り組みです。半導体では、マイクロンが26~29年度に広島工場へ1兆5千億円を投資して、AI向けの次世代メモリーの量産を

計画しています。半導体製造装置のデイスコは、呉市の新工場の第1期工事に330億円を投じるそうです。AI活況は27年春以降も続くと考えられています。成長分野のAIに比べ、電子制御部品業界を取り巻く環境は、これまでにない厳しさを迎えています。AIを除く需要の減速に加え、資源・エネルギー価格の高止まり、原価の高騰などが、中小企業の経営に大きな影響を及ぼしていると思えます。



賀詞交歓会で行われた講演会の様子



柳田会長

関東甲信越電子制御部品流通協議会(NEP)の注目と会員価値の向上

関東甲信越電子制御部品流通協議会(NEP)

会長 柳田佳克

時に押し寄せているのが実情ではありませんが、単なる中間業者ではなく、メーカーの製品や技術を地域の現場へ、産業へ、確実につないでいく。その役割は、これからも必要不可欠です。

この厳しい局面を乗り越えていくためには、各社が個別に対応するだけでなく、業界として知恵を出し合い、情報を共有し、連携を一層強めることが不可欠であると思えます。

関東甲信越電子制御部品流通協議会(NEP)の柳田佳克会長は、2026年の方針について、次のように語った。

AI関連投資が世界的に旺

そのために、本日も東京からご出席いただいている全国電子部品流通連合会の屋宮芳高会長との情報交換、意見交換を通じて、中四国だけに留まらず全国ネットワークのCSEPとして、お客様と地域

に社会貢献できるように、会員全社一丸となつて、この厳しい状況を乗り越えていきたいと思います。新年の定例会で行われた講演には、Z世代戦力化コンサルタントのシナジークリエイ

盛であり、国内においても特にデータセンター関連、航空機、造船、半導体製造装置関連にも立ち上がりの兆しが見

られているが、主要業種、主要用途は依然として勢いがないように思われる。

2026年は、高市新政権の「強い経済」の実現に向けて、責任ある積極財政の考えの下で、物価高対策や経済対策を推進していく。その中

ツ(広島市中区)代表、野村明美氏が登壇。「Z世代を理解する」と題し、1996年から2012年生まれのZ世代の特徴と企業での活用方法について、ワークを交えながら紹介した。

野村講師は、Z世代の3つの特徴として「情報処理が速い、文章は短め、みんな違っていい、目的や納得感で力を発する」と説明。また、「それを理解した上で、やめない組織に必要な要素は、関係欲求と

で「合理化・省力化」「IT化・DX」といった設備投資と、引き続きAI関連投資並びに環境対応といった成長領域に注目していきたい。

一方、円安による輸入物価の上昇などに伴う相次ぐ原材料等の値上がりや、日銀の金利引き上げによる金融政策の

正常化への期待と、財務基盤の比較的弱い中小企業に与える影響への危惧、また外需環

成長欲求の2大欲求を満たすこと」などと語った。参加者からは「若者の価値観を知る良い機会になった」など、感心する声寄せられた。

中野会長はCSEPの活動方針について、「電子制御部品流通として、部品を供給するだけでなく、在庫の適正化、品目の選別強化、技術動向への迅速な対応を通じて、お客

境の不安定さなど、不確実な時代を乗り切るためにも、これからのNEPの在り方が重要だと思えます。

様々な分野で必要な情報を最適に発信できるように、長年に渡り先輩方が築いてこられた相互扶助の精神を踏まえ、

会員相互の親睦と協調を図り、健全な発展向上に取り組み、今年も頑張ります。

引き続き毎月第3水曜日に開催する定例会において、会員によるプレゼンや講師を招いての勉強会で知識を増やし、商社の存在価値を高めるため、品質管理・納期管理・技術情報提供といった付加価値提供に注力し、安定供給体制の構築を目指し、信頼されるCSEPになる所存です」と語っている。

26年は、親睦会や通常総会を計画しております。さらにオンラインを活用しながらの勉強会や、東京都電機卸商業協同組合(TEP)と連携しながら多種多様な講習会などを企画し、会員の皆様とコミュニケーションを図りながら

情報を共有し、会員企業における価値向上に向けた活動を展開して参りますので、よろしくお願いたします。

展開して参りますので、よろしくお願いたします。

九州電子流通業協議会(KRP)

会長 伴野 豪

会員間や他業種との連携を促す

九州電子流通業協議会(KRP)の伴野豪会長は、新年の方針について次のように語った。

KRPでは、2026年1月20日に福岡エレコン交流会、福岡市機械金属工業会と

合同で、恒例となっている賀詞交歓会を開催し、43名の方

にご参加いただきました。この賀詞交歓会では、鳥飼八幡宮の山内圭司宮司を講師として招き、鳥飼八幡宮式年



伴野会長

遷宮のあゆみ、百年後の福岡市の日常にあり続けるために」というテーマで講演をいただき、地域に根づく価値を未来へつなぐ姿勢の重要さに加え、地域文化の価値を再認識いたしました。

また、この会では閉会の挨拶をさせていただき、「九州は今まさに、製造・流通・物流の再編と高度化が同時に進む大きな転換点に立っており、産業構造そのものが変わりつつあります。

この流れの中で、業界・企業・地域が連携し、価値創造に軸を置いた市場づくりを進めていくことが、これからの鍵になってくると考えております。

本日の交流がその一助となり、皆さまの事業のさらなる発展につながることを心より願っております」と考えをお伝えしました。

この賀詞交歓会は他業界との交流を目的としており、今後も連携を深め、価値創造に向けた情報共有を進めて参ります。

昨年のKRPの活動を振り返りますと、25年8月にはeスポーツ大会を、福岡エレコン交流会および福岡市機械金属工業会と合同で開催いたしました。

eスポーツということで、ドライビング&カーライフシミュレーター「グランツォーリスマ7」を用いた対抗戦とな

り、3団体から36名が参加し、トーナメント方式で熱戦を繰り広げ、交流を深めることができました。

KRPは正会員数9社、賛助会員数6社となつています。26年におきましても、同様にeスポーツ大会などのレクリエーションによる会員間や他業種との交流を重視し、さらにはビジネスチャンスや会員企業の成長につながる研修会や見学会の実施を検討して参ります。

九州地区の電子部品流通市場は、昨年のTSMC工場稼働をきっかけに、半導体関連の需要が急増いたしました。これに伴って、部品商社や流通への好影響が生じておりま

す。本年はこの好影響がより大きくなり、さらなる需要増が見込まれることから、KRPの会員一同は、これらの動きに対応していくことが求められていくと考えます。

課題は多いものの、全国電子部品流通連合会(JEP)との連携を強化し、九州からの情報発信に努め、全国的な情報共有を図り、業界全体の底上げを目指すことで、KRP会員企業の成長を目指して参ります。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

全国電子部品流通連合会

電子機器トータルソリューション展2026

ECU Showの出展希望者は確認を！

一般社団法人日本電子回路工業会が事務局を務める「電子機器トータルソリューション展2026」(JPCA Show)が2026年6月10日～12日の日程で、東京ビッグサイト東展示棟で開催される。

同展は、全国電子部品流通連合会(JEP)と東京都電機卸商業協同組合(TEP)からの参加企業によって実施

される「Electronics Component & Unit Show(ESU Show)」に加え、第55回国際電子回路産業展、第40回最先端実装技術・パッケージング展、第27回実装プロセステクノロジー展、AIデバイス展、電気・光伝送技術展、イーテキスタイル/ウェアラブル展で構成。

体産業展とOSAT Solution Showが加わる。なお、開催初日には主催団体の長が集まり、テープカットやレセプション等が行われる予定となっている。

書類提出、6月8日～9日に搬入となる。ただし、期日が過ぎても出展が可能な場合があるので、その場合は同展の運営事務局である昭栄美術(TEL/03-6675-6809)まで確認してほしい。

25年展は13社が参加

なお2025年に開催されたECU Showには、JEPからは、岡本無線電機、東亜無線電機、NNP、ツルタ制御機器、成電社の5社が参加。

そうした中、JEPとTEP、日本電子回路工業会では、「ECU Show」に出展する企業を2026年2月27日まで募集する。

JPCA Showは、昨年442社/団体が出展し、来場者数は4万9760名となった大規模な展示会。出展した会員企業からは、「新たな開拓先につながった」、「優秀な人材の紹介につながった」、「社員がECU Showでの展示に合わせ、新しい検討を行っている」

TEPからは三共社、ジュパ、メトロ電気、アール電子、飯田通商、グローバルディスプレイ、コスタップ、electronicsの8社が参加した。

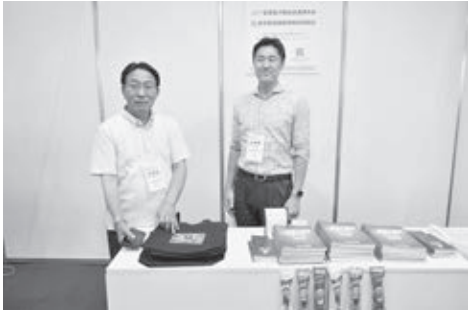
ブース仕様は、1小間6㎡(幅3m×奥行2m×高さ2.7m)のスタンダードブースが税込み30万2500円。

「社員たちが展示の見せ方を検討し、注目を集め、集客するように頑張っており、成長につながっているのを感じている」等の意見も出ています。

またJEP事務局も参加し、会場ではJEP会員名簿と特製エコバッグの配布を実施。26年展でもこれらを行う予定となっている。これ以外にも業界にまつわる講演が行われるので、来場を検討してほしい。



昨年のECU Show会場



事務局も名簿等を配布

「ECU Show」のスケジュールは2月の出展申込締切以降、3月に出展者説明会、4月に招待状発送と各種

ぜひ出展、さらには来場してほしい。

CEATEC2026 開催概要

今年のテーマは「Transformation」

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）は、

2026年10月13日から16日までの4日間、幕張メッセ（千葉県千葉市）にて「CEATEC2026」を開催することを発表した。

今年で27回目の開催となるCEATEC2026は、毎年10月に開催している国内最大級のデジタルイノベーション総合展。25年は810社／

団体が出展し、9万8884人が来場した。

26年は開催テーマに「Transformation」企業が、産業が、そして社会が変わる」を挙げており、経済発展と社会課題の解決を「両立する「Society5.0」の実現を目指す、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、「共創」によって未来を描く場を提供するとして

おり、優れた技術や構想を披露する場にとどまらず、変革の価値を上げ、社会実装を加速させる舞台として位置付けている。

CEATEC2026の展示エリアは、一般展示エリア、企画展示の「Transformationパーク」「ネットワークエネレーションパーク」「グローバルパーク」等で構成される。

注目の「Transformationパーク」では、AI、ウェルビーイング、エンターテインメント、社会インフラ、サステナブル等をテーマとして出展を募集。

なお、主催者企画として、「暮らしのDXパビリオン」等も企画する。



昨年のJEITAブース



昨年のJEPブース

多様な担い手が一堂に会し、技術の進化と社会実装を加速させるデジタルイノベーションの総合展です。

2025年の大阪・関西万博を契機に高まった未来社会への関心を、具体的な産業・ビジネスの創出へとつなげていくことが、2026年のCEATECに求められる重要な役割の1つであると考えています。

AIを始めとする先端技術の社会実装は、新たな段階に突入し、GXやDXなど、さまざまな課題解決と結びつきながら、企業や産業、社会を大きく変革「Transformation」し続けていきます。

CEATEC2026ではこうした潮流を踏まえ、産業横断型の共創と実践的なビジネス創出をより一層推進して参ります。

自社の技術や構想を社会に示し、新たなパートナーと出会う機会として、ぜひCEATECをご活用いただければ幸いです。

多くの企業・団体の皆様のご出展を心よりお待ちしております。

「JEPも出展、名簿を配布」

なお、全国電子部品流通連合会（JEP）は毎年、CEATECに出展し、『JEP会員名簿』や「オリジナルエコバッグ」を配布することで、JEPのアピールを積極的に行っている。

CEATEC2026にもJEPブースを出展する予定となっているので、CEATECに来場の際は、ぜひともJEPブースに立ち寄ってほしい。

新年の お慶びを 申し上げます

飯田通商株式会社

会長 飯田和信
社長 山崎隆博

〒101-0021 東京都千代田区外神田三十九-13
電話 〇三(三三)五七一三二

岡本無線電機株式会社
おおとり株式会社

代表取締役社長

岡本 崇義



〒556-0005 大阪市浪速区日本橋四-18-14
電話 〇六(66) 四六七二代表

電器・電子部品の総合卸商社

角田無線電機株式会社

代表取締役社長

長 澤 雅 裕

本社 東京都千代田区外神田3-14-10
電話(〇三)三二五三-八二一(代)



三信電気株式会社

代表取締役社長執行役員 (CEO)

鈴木 俊 郎

〒108-8404 東京都港区芝四-4-12
電話 〇三(33)五二二(代)

株式 三和コネクタ研究所

代表取締役

北 裕一郎

〒164-0002 東京都中野区上高田三-1-10
電話 〇三(33)一六二一(代表)

大和無線電機株式会社

取締役 堀内 優 覚

代表取締役社長 堀内 優 覚

〒113-0034 東京都文京区湯島三-13-18
電話 〇三(33)八三六一
FAX 〇三(33)三二二一

中央無線電機株式会社

取締役会長

藤木 正 則

代表取締役社長

藤木 愛






千代田電子機器株式会社

代表取締役社長

小口 一 輝

〒101-0021 東京都千代田区外神田三-13-19
電話 〇三(33)九五六一

 <p>代表取締役社長 勝田吉武</p> <p>本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田三丁目七番三号 電話 〇三(335)四五四六(代表)</p>	 <p>Automation for Human</p> <p>鳥居電業株式会社</p> <p>代表取締役社長 齊藤修</p> <p>〒101-0011 東京都千代田区外神田二丁目〇九 電話 03(3253)7571(代)</p> <p>https://www.tois.co.jp</p>	<p>代表取締役社長 岡崎孝宣</p> <p>株式会社 東京理工舎</p> <p>〒338-0823 埼玉県さいたま市桜区栄和一丁目三〇 電話 〇四八(856)三八五一</p>	 <p>代表取締役社長 江見佳之</p> <p>東亜無線電機株式会社</p> <p>〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西二丁目四一五 電話 〇六(684)〇一一七(代表)</p>
---	---	---	--

<p>皆様の清栄を お祈り申し上げます</p> <p>株式会社 家電流通研究センター 『電子部品流通』編集部</p>	 <p>ISO 9001 認証取得 ISO 14001 認証取得</p> <p>株式会社 丸三電機</p> <p>会取 縮 長 役 社代表 取締役 長 竹村元秀 竹村美香</p> <p>〒101-0011 東京都千代田区外神田三丁目九一二 電話 〇三(三三三)〇四一一</p>	 <p>代表取締役社長 浜田健太郎</p> <p>浜田電機株式会社</p> <p>〒101-0011 東京都中央区日本橋本町三十九四 電話 〇三五六五二一七三五</p> <p>https://www.hamada-dk.com/</p>	 <p>代表取締役 樋口 亘</p> <p>ノマ電気株式会社</p> <p>〒107-0062 東京都港区南青山五十一番一六 電話 03(3409)6166(代)</p>
--	--	---	--

皆様のますますのご発展を
心よりお祈り申し上げます

全国電子部品流通連合会

J E I T A / 電子情報産業の世界生産見通し

電子部品、26年も AI 関連で需要増を予測

電子情報技術産業協会（J E I T A）は2025年12月に会見を開き「電子情報産業の世界生産見通し」を発表、25年の見通しと26年の予測を行った。ここでは日系企業の世界生産と電子部品の見通しについて紹介する。

日系企業の世界生産見通し

電子情報産業における25年の海外生産分を含む日系企業生産額は、生成AIの普及と背景に半導体や電子部品が堅調に推移。パソコンの買替需要やソリユーシジョンサービスの成長も需要を押し上げた。一方、電子機器では伸び悩みが見られたが、主要分野の拡大が全体をけん引し、プラス成長を見込んだ。

26年の半導体や電子部品はデータセンター需要等で堅調を維持。ソリユーシジョンサービスはクラウド移行やAI導入支援の需要が続くことから

プラス成長を見通した。

日本経済は円安の影響でコスト増が続く中、企業は価格を見直して収益を確保し、さらに生成AIやDX投資を積極的に進めている。AIの活用が効率化、新しいビジネスモデルの創出を促し、企業の競争力を高めている。

こうした中、生成AIの普及と背景に半導体や電子部品は堅調に推移し、Windows 10サポート終了に伴うパソコンの買替需要も安定して見られる。また、クラウドやAI開発環境への投資が続き、ソリユーシジョンサービ

分野は拡大する一方、働き方の変化などに伴う紙出力の縮小などによるプリンターの伸び悩みもあり、25年の電子情報産業における日系企業の世界生産額全体（海外生産分を含む）としては、41兆8134億円（対前年2%増）とプラス成長を見込んだ。

26年は、半導体や電子部品がAIの進化で堅調を維持する。パソコンはAI搭載端末の普及で一定の需要が見込まれ、ソリユーシジョンサービ

はDX推進、クラウド移行、AI導入支援のニーズが継続する。さらに企業のAI活用が高度化し、クラウド基盤やセキュリティ対策の需要も拡大し、サービ分野の成長は一段と加速する。

これらを背景に、26年の日系企業の世界生産額は、43兆1450億円（同3%増）とプラス成長を見通した。

電子部品予測

25年における電子部品（受動部品/接続部品/交換部品/その他電子部品）の世界生産額は34兆3643億円（2309億ドル）、この内、日系企業生産の割合は約32%に当たる10兆9501億円、国内生産は3兆4305億円

で、25年は関税の影響は最小限に留められたものの、中国経済の成長減速、欧米も個人消費の低迷が続く中、ITインフラ投資が世界的に拡大し、AI関連製品での需要増に加え、円安効果もありプラス成長を見込んだ。

日系企業の国内生産比率は約31%と見込んだ。

世界生産動向（ドルベース）

25年は相互関税の影響が当初懸念されたが、多くの国で一定の合意を見た。

各国での景気支援政策の下支えにより、成長は小幅の減速に留まっている。世界的なITインフラ投資の拡大がAIサーバーや周辺製品での電子部品の需要増加を牽引、スマートフォンや自動車のBEVシフト鈍化を補ったことで、25年はプラス成長を見込んだ。

26年も、引き続きITインフラの投資は大きく進行、生成AI搭載PC・スマートフォン等のエッジデバイスへの拡大を期待して、プラス成長を見通した。

26年もITインフラ投資の拡大によりAI関連での電子部品需要は旺盛と見られ、プラス成長を見通した。

25年は関税の影響は最小限に留められたものの、中国経済の成長減速、欧米も個人消費の低迷が続く中、ITインフラ投資が世界的に拡大し、AI関連製品での需要増に加え、円安効果もありプラス成長を見込んだ。

日系企業動向（円ベース）

26年もITインフラ投資の拡大によりAI関連での電子部品需要は旺盛と見られ、プラス成長を見通した。

26年もITインフラ投資の拡大によりAI関連での電子部品需要は旺盛と見られ、プラス成長を見通した。

25年は関税影響による生産拠点やサプライチェーンの見直し等、大きな変革を求められる懸念があったが、結果的には影響は最小限に抑えられ、国内生産もAI関連製品での電子部品需要拡大と、円安効果もあってプラス成長を見込んだ。

25年は関税影響による生産拠点やサプライチェーンの見直し等、大きな変革を求められる懸念があったが、結果的には影響は最小限に抑えられ、国内生産もAI関連製品での電子部品需要拡大と、円安効果もあってプラス成長を見込んだ。

25年は関税影響による生産拠点やサプライチェーンの見直し等、大きな変革を求められる懸念があったが、結果的には影響は最小限に抑えられ、国内生産もAI関連製品での電子部品需要拡大と、円安効果もあってプラス成長を見込んだ。

国内動向（円ベース）

25年は関税影響による生産拠点やサプライチェーンの見直し等、大きな変革を求められる懸念があったが、結果的には影響は最小限に抑えられ、国内生産もAI関連製品での電子部品需要拡大と、円安効果もあってプラス成長を見込んだ。

25年は関税影響による生産拠点やサプライチェーンの見直し等、大きな変革を求められる懸念があったが、結果的には影響は最小限に抑えられ、国内生産もAI関連製品での電子部品需要拡大と、円安効果もあってプラス成長を見込んだ。

25年は関税影響による生産拠点やサプライチェーンの見直し等、大きな変革を求められる懸念があったが、結果的には影響は最小限に抑えられ、国内生産もAI関連製品での電子部品需要拡大と、円安効果もあってプラス成長を見込んだ。

25年は関税影響による生産拠点やサプライチェーンの見直し等、大きな変革を求められる懸念があったが、結果的には影響は最小限に抑えられ、国内生産もAI関連製品での電子部品需要拡大と、円安効果もあってプラス成長を見込んだ。

日系企業の世界生産見通し(円ベース)

円ベース

(単位:億円)

	2023(実績)		2024(実績)		2025(見込み)		2026(見通し)	
			対前年 伸び率		対前年 伸び率		対前年 伸び率	
電子情報産業計 (電子工業計+ソリューションサービス)	387,326	409,070	6%	418,134	2%	431,450	3%	
電子工業計 (電子機器+電子部品・デバイス)	304,703	319,865	5%	324,275	1%	332,712	3%	
電子機器	135,844	139,582	3%	138,044	-1%	137,268	-1%	
AV機器	29,972	29,833	0%	29,139	-2%	28,800	-1%	
薄型テレビ ※内数	10,227	9,752	-5%	8,967	-8%	8,755	-2%	
映像記録再生機器 ※内数	1,547	1,316	-15%	1,035	-21%	862	-17%	
撮像機器 ※内数	4,787	5,390	13%	5,966	11%	5,947	0%	
カーAVC機器 ※内数	10,064	9,892	-2%	9,917	0%	10,150	2%	
スピーカサウンドシステム ※内数	2,783	2,935	5%	2,749	-6%	2,591	-6%	
通信機器	18,076	17,804	-2%	17,810	0%	17,774	0%	
無線通信装置	11,853	11,936	1%	12,159	2%	12,151	0%	
携帯電話(スマートフォン含) ※内数	4,604	3,847	-16%	3,938	2%	3,636	-8%	
有線通信装置	6,223	5,868	-6%	5,651	-4%	5,623	0%	
コンピュータおよび情報端末	61,121	64,865	6%	65,013	0%	63,967	-2%	
サーバ・ストレージ	3,903	3,980	2%	3,868	-3%	3,959	2%	
パソコン	12,498	13,625	9%	15,122	11%	14,219	-6%	
情報端末	44,720	47,260	6%	46,023	-3%	45,789	-1%	
ディスプレイモニタ ※内数	3,807	4,212	11%	4,302	2%	4,274	-1%	
プリンター ※内数	25,820	28,817	12%	27,584	-4%	27,055	-2%	
イメージスキャナ/OCR ※内数	740	747	1%	748	0%	761	2%	
電子タブレット端末 ※内数	819	719	-12%	929	29%	990	7%	
その他電子機器	26,675	27,080	2%	26,082	-4%	26,727	2%	
電気計測器	7,454	7,654	3%	7,652	0%	8,000	5%	
医用電子機器	5,245	5,059	-4%	4,870	-4%	5,017	3%	
電子応用装置他	13,976	14,367	3%	13,560	-6%	13,710	1%	
電子部品・デバイス	168,859	180,283	7%	186,231	3%	195,444	5%	
電子部品	99,193	105,109	6%	109,501	4%	114,832	5%	
ディスプレイデバイス	9,259	8,001	-14%	5,441	-32%	4,285	-21%	
半導体	60,407	67,173	11%	71,289	6%	76,327	7%	
ソリューションサービス	82,623	89,205	8%	93,859	5%	98,738	5%	
SI開発	45,177	48,518	7%	50,653	4%	53,034	5%	
アウトソーシング・その他サービス	30,436	32,903	8%	35,173	7%	37,389	6%	
ソフトウェア	7,010	7,784	11%	8,033	3%	8,315	4%	

※単位未満四捨五入により、内数と合計が一致しない場合がある。

スピーカサウンドシステム…スマートスピーカを含む。

SI開発…コンサルティングからシステム構築を含むもので、通常、上流工程から下流工程と呼ばれている企画、設計、開発、納入までのSI全体。

アウトソーシング・その他サービス…ハードウェア、ソフトウェアの保守サービス、リモート監視、クラウドサービスを含むアウトソーシングサービス等。

ソフトウェア…個別プログラムを除く製品としてのプログラム全般、オペレーティングシステム(OS)、ミドルウェア、アプリケーションパッケージ等。

世界に広がる ネットワーク

◆海外販売拠点
中国：香港、深圳、成都、広州、重慶、武漢
上海、大連、合肥、杭州
タイ：バドムニ、シラチャ、ランブーン、ピサヌローク
マレーシア：クアラランパール、ジョホールバル、ベン
ベトナム：ホーチミン、ハノイ
シンガポール、フィリピン

◆海外生産工場
中国、タイ、ミャンマー

○主な取扱メーカー

ヒロセ電機	ローム	シャープ	ニチコン
ソーセミ	タカ電子	岡谷電機産業	タムラ製作所
東京コスモス電機	双信電機	放熱器のオーエス	SEMITEC
竹内工業	FDK	坂東電線	大真空
タカチ電機工業	沖電線	サガミエレクト	シーアイエス

飯田通商株式会社

IIDA ELECTRONICS (TSUSHO) Co.,Ltd.

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-9-3
TEL 03-3251-0002 FAX 03-3251-6213
<https://www.iida-tusho.co.jp/>



Living & Working Together

NNP株式会社

<https://www.nnp.co.jp/>

営業品目：電子部品、電子ユニット、電池、モータ、FA等の販売
OEM・ODM・設計開発の請負

本 社：名古屋市中村区名駅3丁目19番14号 第2名古屋三交ビル14F
〒450-0002 TEL:052-561-2571(代) FAX:052-561-2595

営業拠点：東京・静岡・大阪・広島・中国・香港・タイ

関連会社：NNP電子株式会社

取扱メーカー：パナソニックグループ各社・(株)村田製作所・京セラ(株)
ニチコン(株)・ミネベアミツミ(株)・新旭電子工業(株) 他

HAMADA

制御部品、パソコン周辺機器、監視・防犯システムの総合商社



独自のアイデアで
お客様のニーズに応える

FA 制御部品

PC周辺関連機器

浜田電機株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-9-4 TEL:03-5651-7351(代表)

秋葉Direct TEL:03-6825-3180 <https://www.akibadirect.com/>

<https://www.hamada-dk.com/>

“No where, Now here”

～どこにも無いもの 今ここに～

千代田電子機器は、半導体・電子デバイスの専門商社として
長年の経験と技術を培い、お客様のニーズに応じた
ソリューションを提供しております。
電子デバイス販売・購買代行・設計・EMS事業の
サポート体制を柱にお客様と社会へ貢献いたします。



CES	海外営業・購買窓口 シンガポール	CEH	海外営業・購買窓口 香港	CSH	海外営業・購買窓口 上海
CDC	通信機器 設計・製造 株式会社コーテック	MES	国内ASSY工場 株式会社エムイーエス	PST	GPS関連商品開発 ポジション株式会社

千代田電子機器株式会社

CHIYODA ELECTRONIC CO., LTD.

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-3-9 Tel.03-3253-9561
U R L:<http://www.cec-chiyoda.co.jp>

主要取扱メーカー

パナソニック / ネットワーク / ロジックジャパン
NKKスイッチズ / 釜屋電機 / ポジション / コーセル
小峰無線電機 / その他 海外・国内メーカー多数



電子部品流通

THE DENSHI BUNIN RYU TSU

本誌への広告出稿のお問い合わせは下記まで

株式会社 家電流通研究センター
『電子部品流通』
編集部

〒113-0034 文京区湯島3-6-1
全国家電会館
電話03 (3832) 4298
FAX03 (3832) 5061
Eメール mail@krkc.co.jp

お客様のニーズに合った
最適なソリューションを
ご提案いたします



角田無線電機株式会社
KAKUTA RADIO & ELECTRIC CO.,LTD.

https://kakuta.co.jp

電子営業部
〒116-0001 東京都荒川区町屋1-38-16 (菱町屋ビル3階)
TEL 03-6859-2600
FAX 03-6859-4940 (お見積)
FAX 03-6859-4941 (ご注文)

信頼されるパートナーになりたい。

〈営業品目〉
◇コネクタ
◇クーリングファン
◇モーター/トランス
◇ケーブル・アセンブリ
◇各種eco商品
◇光通信機器
◇太陽光発電システム



www.tominagadk.co.jp

〔特約店〕
●(株)七星科学研究所
●山洋電気(株)



ISO 14001:2015 認証取得

富永電気株式会社
本社/〒101-0021 東京都千代田区外神田2-11-8 富永ビル
TEL.(03)3255-0821(代) FAX.(03)3255-0856

エレクトロニクスの
総合商社です

www.daiwa-musen.com
即納品5000品目からお選びください

大和無線電機株式会社
ISO14001 JQA-EM3267

本社 〒113-0034 東京都文京区湯島3-13-8
TEL 03-5846-8361 FAX03-3834-3211
特約代理店
オムロン・サンケン電気・SMK・ミネベアミツミ
東京コスモス電機・ニデックコンポーネンツ・日精電機
ホーザン・センサータ・キムラ電機・K O A

東亜無線電機株式会社
電気部品・電気機器・通信機器・情報機器の販売商社



人と情報のネットワークを広げる東亜無線のヒューマンテクノロジー

https://www.toamusen.com/

本社 〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-4-5
TEL 06-6644-0117
販売拠点 国内/大阪、京都、滋賀、名古屋、関東
海外関係会社 東亜無線(香港)有限公司
上海埃萊夏科貿易有限公司
TOA MUSEN VIETNAM CO., LTD.



ISO 14001:2015 認証取得

お客様のニーズに応える
エレクトロニクス専門商社

主要取扱商品
◆電子部品・機器 ◆基板・実装
◆光部品・機器 ◆環境・省エネ機器

日昭無線株式会社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-13-1

電子営業部 03-3255-6691

https://www.nmk.co.jp

LEXMARUSAN
https://www.lex.co.jp

品質は「品格」から
生まれる。



株式会社 丸三電機
〒101-0021 東京都千代田区外神田3-9-2 Tel.03-3253-0411 Fax.03-3253-1935



岡本無線電機株式会社
OKAMOTO ELECTRONICS CORPORATION

最新エレクトロニクスのフレキシブルな交差点 電子部品の総合商社

本社 〒556-0005大阪府浪速区日本橋4丁目8-4 TEL.06(6643)4671(代) <https://www.okamotonet.co.jp>
 大阪営業本部 06(6327)1133 東京営業本部 03(3412)8211
 名古屋営業本部 052(249)3820 販売促進本部 06(6327)1461
 関連会社 おおとり株式会社(国際本部) 06(7167)8820 香港・深圳・上海・シンガポール・タイ・ベトナム・台湾・マレーシア



SATO PARTS

やさしく光る



防水ワッシャー使用時
IP65 (防水・防塵)
オプション ND-1000-W1

90V-220V AC/DC
5V-60V AC/DC

- 電圧・極性フリー
- カンタン取付
- IP65 (防水・防塵)

・防水ワッシャー使用時
・一部対応していない商品があります

Short movie



次世代表示灯 NDシリーズ162type 新発売!

展示会スケジュール

- 電子機器トータルソリューション展2026
 - ・ Electronics Component & Unit Show(ECU Show)
 - 期間 / 2026年6月10日(水)~12日(金)
 - 場所 / 東京ビッグサイト 東展示棟
- CEATEC2026
 - 期間 / 2026年10月13日(火)~16日(金)
 - 場所 / 幕張メッセ

本誌への広告出稿のお問い合わせは下記まで

株式会社 家電流通研究センター
『電子部品流通』
編集部

〒113-0034 文京区湯島3-6-1
全国家電会館
電話03 (3832) 4298
FAX03 (3832) 5061
Eメール mail@krkc.co.jp